

visual scene	shot	subtitle 字幕	object 被写体	audio narration ナレーション	part セリフ	music/sound 音楽/音	lyric 歌詞
1	1	漫画 蟻の武勇伝 全				○	
	2	提供 東亜文化映画商会				○	
2	1		画面中央に蟻が1匹。手前には葉っぱの屋根が付いた馬車が止まっている。蟻太郎は家の中から紐で何かを引っ張り出そうとしている。 中から出てきた馬蟻は馬車のところまで来ると落ちつかく跳ねたり首を左右に振ったりしている。 蟻太郎は懐から角砂糖のようなものを取り出し、馬蟻に与える。馬蟻は従順になり、蟻太郎はその頭を撫でる。	今日は楽しい日曜日だ。	蟻太郎: さあひとつ、今日は奮発して頼むぞい。さあ、□□□□頼むぞ!	○	
3	1		家からリボンをつけ、スカートをはいた花子が出てくる。家の横の井戸まで来ると釣瓶を引き上げ始める。			○	
	2		釣瓶を上げる花子のアップ。何度か怪訝そうに井戸を覗き込む。途中まで引き上げたところで化粧を始め、縄から手を離してしまう。 釣瓶が井戸の底に落ち、水しぶきが花子の顔にかかる。		花子: どれ、衣装でもして。まあホントに。さ。アラ!	○	
4	1		馬車に乗り街道を走る蟻太郎。口笛を吹きつつ、画面奥に身体を捻っている。			○/口笛	
	2		馬車に気付く花子。胸からハートが飛び出る。ハートから棒人間が出てきてハンマーでハートを粉々に砕く。	そこで蟻太郎は		○	
	3		馬車に乗ったまま階段を上り、家の前で花子を乗せる。そのまま画面左へ。	花子を連れていよいよピクニックに出かけることになる。		○	
	4		しばらく走った途中で、蟻太郎と花子がキスし始める。気付いた馬蟻は停まって蟻太郎に抗議する。何度か問答を続けた後、再び走り始める。		蟻太郎: おおい。なに、そう妬くなよ。	○	
5	1		2頭だての御者付きの馬車。後ろでは蟻が2匹トランペットを吹いている。 途中で馬車の窓が開き、中から王冠を被った蟻が顔を覗かせる。	意地の悪い隣国の王様が		○	
	2		王が目を見開いて、画面左側を指さし、御者に命令する。		王: おう	○	
	3		御者は命令を受けると倍の速さで馬車を走らせる。		王: よい娘だぞ。それ急げ!	○	
6	1		蟻太郎の馬車が岩陰で停車しているところに、奥から王の馬車がやってくる。王の馬車が直ぐ隣に停まると、中から王が出てくる。			○	
	2		王が馬車に乗ったままの2人に歩み寄る。王は花子へ視線を向ける。 蟻太郎は帽子を取って会釈。 続けて王は馬車と馬に視線を走らせた後、大口をあげて笑う。		王: ようお2人。どちらへお出かけ? 蟻太郎: ちょっとそこまでね 王: ほほう、君のはくたばつとるの	○	
	3		顔を見合わせる蟻太郎と花子。蟻太郎は自分の頭の上で指をくるとまわして見せる。2人して笑い始める蟻太郎と花子。		王: いいや、自分のもくたばってるんで□□□	○	
	4		頭上から「?」や「!」を飛ばす王。急に怒り出し、馬車の方を向くと手招きして家来を呼び寄せる。 怯えて抱き合う蟻太郎と花子。		王: ええい笑うな!	○	

scene	shot	subtitle	object	narration	part	music/sound	lyric
シーン	ショット	字幕	被写体	ナレーション	セリフ	音楽/音	歌詞
	5		馬車の後ろの方に乗っていた家来が馬車から下りてくる。家来2匹は王のマントをめくり上げてその中を這って行く。		王の声: それ、命令じゃ!	○	
	6		1匹の家来が花子を抱えて盗み出し、もう1匹が棍棒を持って蟻太郎に襲いかかる。殴られた蟻太郎は気絶してしまう。		王: それ!	○/口笛	
	7		馬車に駆け込む王。窓からは花子が身を乗り出して叫んでいる。王が乗りこむと御者は馬車を急いで発進させる。			○	
	8	助けて!			花子: 助けてー!	○	
	9		馬蟻に鞭を振り、街道を駆けて行く馬車。			○	
7	1		キノコにぐったりとした蟻太郎が縛り付けられる。家来は縛り終えると画面右側へ消える。気が付いた蟻太郎は縄をほどこうと暴れ出す。そこへ羽蟻が奥から飛んで来て蟻太郎の目の前に停まる。羽蟻は鋭い鼻で蟻太郎を縛り付けていた縄を断ち切る。解放された蟻太郎は花子を助けに走って行く。蟻太郎が落として行った帽子を羽蟻が誇らしげに被るが、戻って来た蟻太郎に奪い返されてしまう。		家来: この青二才 蟻太郎: おう、羽蟻殿。1つお願い申す。助けて下され。 蟻太郎: では、少しでも早く、お□□□□。	○	
	2		街道を走る蟻太郎。途中で帽子が脱げかける。		蟻太郎: □□□□□	○	
	3		カタツムリが地面を這っている。蟻太郎が頼み込むと自転車の形に変形する。蟻太郎がそれに乗って先を急ぐと、カタツムリが後ろから針で蟻太郎を刺してくる。		蟻太郎: では、なんとか急いで頼むぞよ。おっ、これは名案じゃ。	○	
8	1		街道を駆け抜けていく王の馬車。			○	
	2		中央に小さく肥え太った警官が立っている。驚いて飛び上がると、道を塞ぐように中央に立ち、腕を振って画面左へ合図を送る。			○	
	3		警官蟻が何度も警笛を吹く。警官は胸に「CHIEF」と書かれた星型のワッペンを付けている。			○/笛の音	
	4		笛の音とともに、周囲の家屋から大勢の蟻たちが出てくる。王の馬車が警官の目の前で停まる。			○	
	5		馬車に歩み寄り、扉を叩く警官。苛立たしげに地面に唾を吐く。警官が何度も扉を叩いて、ようやく窓から顔を出す王。王に睨みつけられて飛び上がって震える警官。		警官: これはこれは、お殿様。お帰りで御座りますか。それとも何か、間違いでも?	○	
	6		怯えて敬礼する警官。			○	
	7		腰を低くして、ひれ伏すような格好を見せる警官。警官が画面右へ後ずさって行き、王は窓を閉める。		王: うむ	○	
	8		通り過ぎていく王の馬車。周囲の蟻たちは皆、地面にひれ伏している。王の馬車が画面右に消えるか消えないかのうちに、画面左から蟻太郎の乗った自転車が登場。中央で一度バウンドして警官を踏みつけ、消えた王の馬車を追って画面右へ走って行く。踏まれた警官は警棒を自転車へ向かって投げる。		王: 青二才が後から来るから頼むよ。	○	
9	1		街道を走る馬車。			○	

scene	shot	subtitle	object	narration	part	music / sound	lyric
シーン	ショット	字幕	被写体	ナレーション	セリフ	音楽 / 音	歌詞
	2	助けて！				○	
	3		街道を走る王の馬車。それに追いつかんと後ろから蟻太郎の自転車が迫る。追いつこうとした蟻太郎を邪魔しようと後ろに乗った家来がトランベツを振りかざす。		花子:助けてー！助けてー！	○	
	4		トランベツを避けながら自転車をこぐ蟻太郎。トランベツを掴むが、自転車から転げ落ちてしまう。カタツムリを乗り越え、自力で走って行く蟻太郎。			○	
10	1		跳ね上げ扉が開き、王の馬車は木の幹の中へ入って行く。			○	
	2		城内。数多くの兵隊蟻たちが整列している。馬車はその間を通り抜け、扉の中へ入って行く。			○ / 扉が閉まる音、中へ入っていく音	
	3		城の外。蟻太郎が追いつく。			○	
	4		蟻太郎が何度も扉に体当たりするが扉は開かない。		蟻太郎:開ける！開ける！	○	
	5		王の足元で震える花子。王はマントを脱ぎ捨て、花子に飛びかかる。花子は王を避けると、部屋の中をぐるぐると逃げ回る。それを王が追う。		花子:助けてー！	○	
	6		頭を打ち付け過ぎて、蟻太郎の頭上で星が回っている。扉に丸い窓が開き、その中から兵士が鉄槌で蟻太郎の頭を叩く。			○ / 叩く音	
	7		王に捕まった花子。花子は泣き叫んで激しく抵抗する。窓から逃げようとし、王を殴ったり蹴ったり。		花子:助けてー！	○	
	8	助けて！				○	
	9		扉に登ろうとする蟻太郎。だが、窓が開き、中から兵士が蟻太郎の足を引っ張って邪魔をする。尻から地面に落ち、目を回す蟻太郎。			○ / 目が回っている効果音	
	10		木から離れ、助走をつけて登ろうとする蟻太郎。途中まで登るが、木の幹に付いた窓から兵士が身を乗り出してきて蟻太郎の邪魔をする。何度か挑戦して、蟻太郎はようやく枝に取りつく。届かない窓から兵士の蟻たちが身を乗り出して悔しがる。		蟻太郎:かくなる上は得意の木のぼり	○	
	11		城内。兵士蟻たちが1つの扉に一齐に入って行く。			○	
	12		窓から兵士蟻が枝に下りてくる。枝の上で蟻太郎と兵士蟻は剣の打ち合いを始める。		兵士蟻:こやつ、生意気な！	○	
	13		不安定な枝の上で打ち合う蟻太郎と兵士蟻。蟻太郎の剣が兵士蟻の胸を突き、兵士蟻はもんどりうって落ちていく。蟻太郎はまた上からおりてきた兵士ありと格闘を始める。次から次へと兵士蟻を片つけて行く蟻太郎。		蟻太郎:何を！こしゃくな！	○	
	14		枝の下で担架を持った蟻が落ちてくる兵士蟻を受けとめようとしている。タイミングが1歩遅く、受け止めることが出来ない。			○ / 兵隊蟻が地面に叩きつけられる音	
	15		兵士蟻と戦う蟻太郎の俯瞰。何匹も途切れず窓から兵士蟻が下りてくる。			○	
	16		城内の扉へ向かう大勢の兵士蟻たち。			○	

scene	shot	subtitle	object	narration	part	music/sound	lyric
シーン	ショット	字幕	被写体	ナレーション	セリフ	音楽/音	歌詞
	17		枝の上で戦う蟻太郎。1度剣が後方へ飛ばされるが、直ぐに拾い直し反撃する。兵士蟻たちを次から次へと枝から落としていく蟻太郎。			○/次々と地面へと落とす音	
	18		枝の下に担架を持った蟻2匹がやってくる。地面に担架を置くと、その場所へ落ちてきた兵士が勝手に集まってくる。山積みになった兵士たちを奥へ運んで行く。			○/兵隊蟻が地面に叩きつけられる音	
	19		手術室。壁に「OPERATING/ROOM」と書かれたプレートが貼られている。白衣を着た蟻が手術台の左側に立っている。1匹の蟻が担架に乗って運ばれてくる。			○/アイロンで伸ばす音	
	20		手術台に乗せられた蟻を、アイロンで引きのばしていく白衣の蟻。手足触角を綺麗に伸ばし、鼻をつねると兵士蟻が起き上がる。手術台の上で小躍りする兵士蟻。			○	
	21		元気になった兵士蟻が画面右へ消えると、再び負傷した兵士蟻が担架に乗せられてやってくる。			○	
	22		部屋の中で逃げ回る花子とそれを追う王。		王:えいっ、【おかわり?】 花子:助けてー!	○	
	23		枝の上で戦う蟻太郎。屈強な兵士蟻がおりてくると、蟻太郎は剣をかざして身構える。しかし臆することなく相手の剣を叩き折り胸を突くと、蟻太郎は兵士蟻を枝から突き落とし、窓から中へ侵入する。			○	
11	1		王に追い詰められ震える花子。王の隙を狙い、蟻太郎が窓から王に飛びかかる。王は懐から剣を取りだすと蟻太郎と打ち合う。花子は床にうずくまって怯えている。打ち合うこと数秒で蟻太郎が王の剣を叩き斬る。王は負けじともう1本剣を取りだすが、蟻太郎はそれを奪い、王の胸を突き刺す。王がもんどりうって倒れると、蟻太郎は花子を抱え上げ、窓から外に出る。		王:おのれ、卑怯者!	○	
	2		剣に付いた血を拭う蟻太郎。胸を膨らませときめく花子。蟻太郎は剣を枝に突き刺す。		蟻太郎:花子さん、もう大丈夫! 花子:まあなんてお強いの。	○	
	3		2人で枝に腰掛け、肘でお互いを突きあう。2人の顔から笑いがこぼれる。花子に蹴られて枝から落ちる蟻太郎。		蟻太郎:なあに、このくらいのことほね。 花子:でも、本当に強いわよ! 蟻太郎:なあに、それほどでも。いやあ。	○	
	4		蟻太郎が落ちた先には大輪の花が。蟻太郎はその中心に落ちる。何が起きたか分らず辺りを見回す蟻太郎。ようやく上を向いて事の次第を理解する。		蟻太郎:ないさ。	○	
	5		蟻太郎が落ちたことに気が付いていない花子。蟻太郎の肩を叩こうとして、何も無い中空で空振りする。蟻太郎が居ないことによりやく気付き、その拍子に花子も落ちる。			○	
	6		落ちてきた花子を受け止める蟻太郎。2人がキスすると、花卉が2人を隠すように閉じていく。花卉が閉じ切る前に、画面手前へ向かってウィンクする蟻太郎。			○	
12	1	終					